

## 第 155 回運輸政策コロキウム 開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび運輸総合研究所におきましては、「第 155 回運輸政策コロキウム」を開催することとなりました。

つきましては、ご関心をお持ちの皆様におかれましては、ご参加を賜りますようご案内申し上げます。また、ご関心をお持ちの方々に広くご周知頂ければ幸いです。

ご参加に当たりましては、大変恐縮ですが、申込み専用 URL からお申込み頂きますようお願い申し上げます。

敬具

記

### ○第 155 回運輸政策コロキウム

日 時：2023年6月20日（火）13:00～15:20

会 場：運輸総合研究所 2 階会議室およびオンライン配信（Zoom ウェビナー）※日英同時通訳

テーマ：「日本の製造業におけるロジスティクスと

サプライチェーンの強靱化戦略を実施する利点」

**1. 開会挨拶** 佐藤 善信 運輸総合研究所 理事長

**2. 発表** 「日本企業におけるサプライチェーンの強靱化の意義」

開沼 泰隆 公益社団法人日本経営工学会 会長

前・東京都立大学 システムデザイン学部 教授

**3. 報告** 「日本の製造業におけるロジスティクスと

サプライチェーンの強靱化戦略を実施する利点の調査」

マハルジャン ラジャリ 運輸総合研究所 研究員

**4. コメント** 鈴木 定省 横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 教授

### **5. パネルディスカッション及び質疑応答**

コーディネーター：山内 弘隆 運輸総合研究所 所長

参 加 者：講演者及びコメンテーター

**6. 総括・講評** 山内 弘隆 運輸総合研究所 所長

**7. 閉会挨拶** 山内 弘隆 運輸総合研究所 所長

**参加費**：無料

**お申込み**：下記の URL よりお申し込みください

<https://krs.bz/jterc/m/collo230620>

（参加申込期限：6月16日（金）まで）

※会場が定員に達し次第、来場参加については締め切りますのでご了承ください。

※オンライン参加についてはコロキウム開始直前まで受け付けております。



## 概 要

コロナ・パンデミックによる物流等へのグローバルで広範な影響により、ロジスティクスとサプライチェーンにおける強靱化が課題である状況を経験した。そこで、この研究では、4産業分野における日本の製造企業を対象に、強靱化戦略の実施状況とパンデミックが企業の業績並びにロジスティクス及びサプライチェーンの活動に与える影響について調査した。このコロキウムでは、その調査結果を踏まえて、パンデミックの前又は最中に強靱化戦略を実施することが企業に利益を齎すかどうかについて分析を行い、企業におけるサプライチェーンの強靱化戦略の意義とその促進方策を含め、議論を行う。

## ○講演概要、登壇者のご紹介

**発表：開沼 泰隆** 公益社団法人日本経営工学会 会長  
前・東京都立大学 システムデザイン学部 教授

### 「日本企業におけるサプライチェーンの強靱化の意義」

近年、自然災害や感染症のパンデミックの被害による危機的事象を原因とするサプライチェーンの途絶は、供給サイドのサプライチェーンばかりでなく需要サイドの一般市民にまで多くの影響を与えることが分かり、それを予防、回避、対処する方法の開発が喫緊の課題となっている。企業においては、自社活動の維持・強靱化へ投資し、強靱化に資する製品やサービスの創出が求められている。

ラジャリ博士の講演の前に、日本企業におけるサプライチェーン強靱化への取組みと投資の必要性及びその強靱化の世界への貢献の可能性について述べる。



#### (ご経歴)

武蔵工業大学工学部卒業，同大学院修士課程修了，早稲田大学大学院理工学研究科博士後期課程単位取得退学。早稲田大学理工学部助手，東京都立商科短期大学講師，助教授，東京都立短期大学助教授，首都大学東京システムデザイン学部准教授，教授，東京都立大学教授を経て2023年3月定年退職。博士(学術)。公益社団法人日本経営工学会会長、元オペレーションズ・マネジメント&ストラテジー学会会長など、国内外の学会等の理事を歴任。専門領域はサステイナブル・サプライ・チェーン，人道支援サプライ・チェーン，グローバル・サプライ・チェーンの設計/再設計などの経営工学，オペレーションズ・マネジメント分野。代表的な論文として，A multiple attribute utility theory approach to lean and green supply chain management, International Journal of Production Economics, Vol. 101, pp. 99-108(2006)や Trends and Research Challenges in Remanufacturing, International Journal of Precision Engineering and Manufacturing - Green Technology, Vol.3 No.1 pp. 129-142(2016)などがある。受賞歴は，厚生労働大臣表彰(2007.10)、2011年の生産研究国際会議での Best Paper Award、韓国 IE 協会表彰など。

報告：マハルジャン ラジャリ 運輸総合研究所 研究員

**「日本の製造業におけるロジスティクスとサプライチェーンの強靱化戦略を実施する利点の調査」**

コロナ・パンデミックによる物流等へのグローバルで広範な影響により、ロジスティクスとサプライチェーンにおける強靱化が課題である状況を経験した。そこで、この研究では、4産業分野における日本の製造企業を対象に、強靱化戦略の実施状況とパンデミックが企業の業績並びにロジスティクス及びサプライチェーンの活動に与える影響について報告する。



(ご経歴)

東京工業大学工学部博士課程修了。東京工業大学博士研究員を経て、運輸総合研究所に勤務。専門はサプライチェーンネットワークの設計、外国人観光客の避難行動、ロジスティクスとサプライチェーンの回復力。主な研究テーマは、流通ネットワークの設計、人道的ロジスティクス、外国人観光客の避難行動及びロジスティクスとサプライチェーンの持続可能性と回復力の強化。

コメント：鈴木 定省 横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 教授

(ご経歴)

【学歴】

1998 東京工業大学 工学部 経営システム工学科卒業  
2000 東京工業大学大学院 社会理工学研究科 経営工学専攻修了

【学位】

博士(工学) (東京工業大学 2007)

【職歴】

2000 東京工業大学大学院 社会理工学研究科 経営工学専攻 助手  
2008 同 准教授(～2021)、東京農工大学 工学部 非常勤講師を兼任(～2013)  
2021 横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 教授(現職)

【受賞】

2006 日本経営工学会論文奨励賞  
2011 東京工業大学平成22年度教育賞優秀賞

【代表的な著書】

『経営情報システム(第4版)』(共著:中央経済社,2014)  
『戦略的SCM 新しい日本型グローバルサプライチェーンマネジメントに向けて』(共著:日科技連出版社,2015)

【専門分野・研究テーマ】

生産管理、サプライチェーンマネジメント、オペレーションズ・マネジメント、顧客価値・満足度

運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。

Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

お問い合わせ：一般財団法人運輸総合研究所 (担当:深作、菅井)  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19(UD 神谷町ビル)  
TEL: 03-5470-8415 FAX: 03-5470-8401  
E-mail: [collo@jttri.or.jp](mailto:collo@jttri.or.jp) HP: <https://www.jttri.or.jp/>